

## {過去問題} (論述問題)

### ○ {閲覧に対する注意事項}

- \*掲載している過去問題は、本大学院を受験しようとする受験生のための受験対策として掲載するものであり、取り扱いについては十分に注意してください
- \*無断転用を禁じます。

### 2025 年度入試 B 日程 論述問題 (一般選抜)

以下の問題の中から 1 題を選択し、別紙の「論述試験解答用紙」に解答しなさい。その際、指定した欄に選択した問題の番号を記入してください。解答は横書きで書いてください。

1. 体育やスポーツについて歴史研究を行うことの意味について、具体的な事例（スポーツ全体でも個別のスポーツ、または人物でも良い）をあげて自身の考えを述べなさい。（スポーツ史／スポーツ人類学）
2. 東京 2020 大会（オリンピックとパラリンピック）を通して生まれたレガシー（遺産）について、大会運営、スポーツ、都市インフラ、教育などの例をあげて自身の考えを述べなさい。（スポーツ史／スポーツ人類学）
3. 近代以降の学校体育や課外活動では、スポーツは生徒の人間形成に有効であるとの立場から、広くスポーツが行われてきた。スポーツにおける人間形成の可能性について考えるところを述べなさい。（体育科教育学）
4. 体育教師が体育授業の中で行う 4 大行動には、「直接的指導 (instruction)」「マネジメント (management)」「観察 (monitoring)」「相互作用 (interaction)」があるといわれる。これら 4 大行動のそれぞれについて具体的に説明しなさい。（スポーツ教育学／スポーツ倫理学）
5. 運動指導において、指導者が学習者の感覚に共感する必要性について、例をあげて説明しなさい。（スポーツ運動学）
6. 初級段階の学習者の動きかたの特徴を、具体的なスポーツ動作の例をあげて説明しなさい。（スポーツ運動学）
7. 身体動作、又はスポーツ動作を一つあげ、バイオメカニクスの観点から考察しなさい。（スポーツバイオメカニクス）
8. 身体動作、又はスポーツ動作を一つあげ、ニュートンの運動の 3 法則の観点から考察しなさい。（スポーツバイオメカニクス）
9. スポーツのデータサイエンスにおいて、ビデオ解析がどのように活用されているかについて、事例をあげて説明しなさい。（スポーツデータサイエンス）
10. スポーツのデータサイエンスにおいて、試合から収集するデータにはどのようなものがあり、どのように活用されているか、例をあげて説明しなさい。（スポーツデータサイエンス）
11. 持久力や持久性パフォーマンスを決定する要因について説明しなさい（スポーツ生理学／トレーニング学）
12. 筋力を決定する要因と筋力を高めるためのトレーニングについて説明しなさい。（スポーツ生理学／トレーニング学）

## 2026 年度入試 A 日程 論述問題 (一般選抜)

以下の問題の中から 1 題を選択し、別紙の「論述試験解答用紙」に解答しなさい。その際、指定した欄に選択した問題の番号を記入してください。解答は横書きで書いてください。

1. 嘉納治五郎の「精力善用・自他共栄」の考えについて述べなさい。(スポーツ史/スポーツ人類学)
2. 自身がこれまでに関わったスポーツ(1種目)のルールの変容について述べなさい。(スポーツ史/スポーツ人類学)
3. 現在、運動部活動の地域移行(地域展開)が全国で進捗しているが、なぜ今運動部活動を地域で行うことが求められているのか、その理由を説明しなさい。(スポーツ教育学/スポーツ倫理学)
4. 良い体育授業を展開するために教師が配慮しなければならない指導技術について説明しなさい。(スポーツ教育学/スポーツ倫理学)
5. 身体運動に関する運動技術を挙げ、バイオメカニクス観点から説明しなさい。(スポーツバイオメカニクス)
6. スポーツに関する運動技術を挙げ、ニュートンの運動法則の観点から説明しなさい。(スポーツバイオメカニクス)
7. スポーツのデータサイエンスで測定されているデータについて、例を挙げて説明しなさい。(スポーツデータサイエンス)
8. データサイエンスを活用した選手のパフォーマンス分析に測定されている項目について、例を挙げて説明しなさい。(スポーツデータサイエンス)
9. 練習における反復(繰り返し)は、内省的に行われることが重要です。その理由について、具体例を挙げて説明しなさい。(スポーツ運動学)
10. 運動指導では、学習者の動きをよく見ることが大切です。その理由について、具体例を挙げて説明しなさい。(スポーツ運動学)
11. 筋線維組成について、その判定方法、それぞれの筋線維の特徴、トレーニングに対する適応などについて説明しなさい。(スポーツ生理学/トレーニング学)
12. いわゆる「バネ」を向上させるトレーニングの理論と方法について説明しなさい。(トレーニング学)
13. 個別性を重視したコーチングにおける重要な要因を説明しなさい。(コーチング学)
14. 疾走時の支持脚や跳躍種目の踏切時における下肢の筋収縮様式について説明し、それらを高めるコーチング方法について説明しなさい。(コーチング学)
15. プレーヤーズセンタードコーチングとはどのようなことか、プレーヤー、指導者、保護者、トレーナーの4つのワードを必ず用いて説明しなさい。(コーチング学)
16. グッドコーチに求められる資質能力について説明しなさい。(コーチング学)
17. 東京パラリンピック開催後、日本の障がい者スポーツを取り巻く社会環境の変化について、プラスの側面とマイナスの側面を示し、説明しなさい。(アダプテッドスポーツ学)
18. アダプテッドスポーツについて、具体的な事例を示し、説明しなさい。(アダプテッドスポーツ科学)

## 2026 年度入試 B 日程 論述問題（一般選抜）

以下の問題の中から 1 題を選択し、別紙の「論述試験解答用紙」に解答しなさい。その際、指定した欄に選択した問題の番号を記入してください。解答は横書きで書いてください。

1. オリンピック・モットー「Faster, Higher, Stronger, Together」の意味について述べなさい。  
(スポーツ史／スポーツ人類学)
2. 自身がこれまでに関わったスポーツ（1 種目）を運営・統括する組織について、設立から今日に至るまでの歴史について述べなさい。(スポーツ史／スポーツ人類学)
3. ジュニア期のスポーツの学習場面で指導者が特に配慮しなければならないことを述べなさい。(スポーツ教育学／スポーツ倫理学)
4. 運動やスポーツが子供の人格形成に好ましい影響を与えるために、保障されることが望ましい経験について述べなさい。(スポーツ教育学／スポーツ倫理学)
5. スポーツに関する運動技術を挙げ、バイオメカニクス観点から説明しなさい。(スポーツバイオメカニクス)
6. 身体運動に関する運動技術を挙げ、ニュートンの運動法則の観点から説明しなさい。(スポーツバイオメカニクス)
7. データサイエンスを活用したスポーツのパフォーマンス分析について、分析テクニックの例を挙げて説明しなさい。(スポーツデータサイエンス)
8. スポーツのデータサイエンスを活用した試合やレースの戦術分析について、分析テクニックの例を挙げて説明しなさい。(スポーツデータサイエンス)
9. 運動の技術とは何か、具体例を挙げて説明しなさい。(スポーツ運動学)
10. 運動練習において、自分の感覚を振り返ること（自己観察）の意義について、具体例を挙げて説明しなさい。(スポーツ運動学)
11. 持久性トレーニングが循環機能に与える効果について、具体的な生理学的変化を挙げて説明しなさい。(スポーツ生理学／トレーニング学)
12. 年間のトレーニング計画を立てる際に留意すべき事項について説明しなさい。(トレーニング学)
13. 筋力を高める手段について 2 種類を説明し、それぞれに適したコーチングについて説明しなさい。(コーチング学)
14. 陸上競技におけるコーチングについて、水平系跳躍種目における局面構造とパフォーマンスとの関係について説明しなさい。(コーチング学)
15. コーチが目指す指導の目的には人間力と競技力がありますが、それぞれの目的に対して達成するための行動にはどのような行動があるかを説明するとともに、なぜこの二つを目的としているか説明しなさい。(コーチング学)
16. 運動習得において、スキルを高めるためにどのような手順や方法があるか説明しなさい。(コーチング学)
17. パラリンピックのクラス分けの必要性和課題について説明しなさい。(アダプテッドスポーツ学)
18. 障がい者スポーツにおける科学的支援の意義と内容について、事例を挙げて説明しなさい。(アダプテッドスポーツ学)